

くるりんバスの本格運行及び実証運行状況について

ルート (収支率)		便別の状況(利用時間帯)	停留所別の状況(利用停留所)	前年比較(乗車数)
共通 (30.4%) (*28.2%)		<ul style="list-style-type: none"> ・砂川・曙ルートについては、更に動向を見ていく必要がある。 ・2か月の実績では、動向がつかめない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・砂川ルートの新設停留所以外については、これまでの傾向と異なる大きな動きは見られない。 ・交通結節点である鉄道駅と交通不便地域間の利用が確認できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・10月、1月の利用者増は、降雨・降雪要因による。
本格運行	西砂 (28.6%) (*31.0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・平日7:00、8:20松中操車場発の利用実績が増加しており、通勤通学での利用が推測される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・乗降共に鉄道駅の利用が多い。 ・その他の停留所においては、多少の増減はあるものの、特出的な傾向はみられない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・天候の影響以外は、ほぼ前年と同じ。
	錦 (56.4%) (*53.0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・平日17:15発の利用が最多となっている。 ・全時間帯において、一定の利用があり、全体的に利用実績が増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・立川駅と錦町六丁目付近の間に利用実績が多くみられる。特に錦町六丁目東の利用が乗降共に伸びている。 ・柴崎体育館の利用数の増加は見られず、系統乗継の効果は確認できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全月において、前年と比較して利用者数の増加がみられる。
実証運行	一番 (18.8%) (*13.8%)	<ul style="list-style-type: none"> ・8:00、18:50発の利用に増加傾向がみられる。 ・15:30、17:30発の夕方利用に減少傾向がみられる。 ・6:55発の利用者数が最も多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・乗降で利用する停留所のピークが異なっている。行きと帰りで異なる停留所を利用しているか、片道利用の可能性が予想される。 ・乗車では「西砂児童館」で利用が伸びていて、降車では「松中団地北」「エステート立川中央」の利用が伸びている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・10月、1月の前年利用との開きが他のルートと比較して大きく、天気の影響を受けやすい傾向がみられる。 ・西武立川駅との距離が近いことで、徒歩利用者が天候によりバスを利用したことが推測される。
	砂川 (4.4%) (*3.1%)	<ul style="list-style-type: none"> ・3月の10時～12時の利用者数が増加となっているが、翌月に同様の傾向はみられない。 ・4月実績の7時～10時の利用がこのまま安定すれば、通勤通学での利用が推測される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・西武鉄道の3駅及び「東航通り」「砂川公園前」の利用は引き続き多い。 ・新設した天王橋団地から西武立川駅北口の利用が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運行間隔が広がったが、利用者数の減少はみられず、前年比較から今後の伸びも期待できる。
	曙 (7.7%) (*15.6%)	<ul style="list-style-type: none"> ・7:00から10:00の時間帯がなくなった分、その後の時間帯での利用が増加している。 ・利用者が減少したのは、朝夕の時間帯であり、日中はほぼ継続した利用がみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数が多かった「アートアベニュー立川」「東京ガス前」の降車数が半減。乗車数では1/3程度に減少。 ・「二小南」「ぎょうせいデジタル前」の利用はほぼ「0」に近い状況。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2月までは、前年比で増加傾向にあったが、3月からの減便の影響で、利用者数は減少。 ・時間帯、停留所の利用者減の状況から、朝のアートアベニュー立川から立川駅までの通勤利用分の減少が考えられる。

便別・停留所別の利用状況は、ICカードによるODデータ(参考値)をもとに分析。

収支率上段は、平成30年3月～4月の収支率。下段(*)は、平成28年9月～平成29年8月までの実証運行期間のもの。一部予算額より算出。